

総合評価の結果

基本方針	評価（外部要因についても記載）	
【基本方針1】 脱炭素型のまちを目指します	B (指標平均：2.0)	省エネ機器や再生可能エネルギー導入の効果等により、前年より温室効果ガス排出量・エネルギー消費量共に減少した。一方で、目標である2030年の2013年度比48%削減の目標に向けては乖離が見られるため、引き続きエコハウス設備設置助成金や次世代自動車等購入費助成や事業者等との連携、実質再エネ電気の活用等により、一層の温室効果ガス排出削減に取り組んでいく。 ※最新の数値である2022年度までの削減実績を元に評価しています。
【基本方針2】 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	A (指標平均：3.0)	目標通り順調に進捗しているが、今後も生物多様性及びその保全の必要性について、理解する機会を 市民 に提供し、保全に向けた行動を実行できるよう普及啓発の推進を図る。また、東京都レッドリスト掲載種の市内確認種数10種に関しては、関係機関等に情報提供依頼するなど、広く情報収集に努めていく。
【基本方針3】 循環型のまちを目指します	A (指標平均：3.0)	今後の経済状況の変動や市民の行動変容に伴いごみの排出量に増減が生じることは考えられるものの、市民へのごみ減量・3R推進の啓発や集団回収の奨励と生ごみ処理機購入補助、リユース食器貸出事業等の各種事業の推進のほか、民間事業者等との協働による食品ロス削減にかかる取組等を総合的に展開するとともに、最終処分場構成市と連携し埋立処分量ゼロを継続することで、着実に循環型社会の形成に寄与することができているものと考えている。
【基本方針4】 安全・安心・快適に暮らせる文化的なまちを目指します	B (指標平均：2.5)	水質、大気、騒音・振動の環境基準適合率について、大気及び振動に関しては、測定値が環境基準内を保っている状況が続いている。しかしながら、騒音に関しては測定箇所全12地点中3地点が超過し続けている状況にある。また水質に関して、環境基準の超過が継続している項目があるが、これは下水処理場の放流口が市域に2か所あることが原因であると思われる。これらの事象については市単独での努力では改善が難しい状況にあるが、引き続き、水質、大気、騒音・振動の測定を行い、環境基準適合率の現状把握を行っていく。一方、まちなみや景観がよく保全されていると感じている市民の割合は、2020年度以降毎年増加しており、順調に進捗している。今後も、府中市景観計画及び府中市景観ガイドラインに基づき、事業者との協議及び指導等とおして良好な景観の形成に努めていく。
【基本方針5】 協働・連携のための環境が整ったまちを目指します	- (指標平均：)	
	S： A： B： C：	